

善福寺川整備工事（その１０８）工事説明会 主なご質問、ご意見と回答

１．開催概要

日 時 ： 令和６年４月２０日（土） 午前１０時００分～午後３時００分
場 所 ： 杉並区大宮二丁目 和田堀公園ケヤキ広場付近の工事作業所内
来場者 ： ４７名

２．説明会のアンケートで頂きましたご意見

- ・ 工事をするための前提となる治水の話が聞けて良かった。
- ・ オープンハウス形式で誰でも入りやすいが、反面限られた人にしか伝わらない。
- ・ 説明を受けたが、必要な工事が疑問が残ります。
- ・ 参加しやすい形で良かったです。
- ・ 関連工事範囲の崖地の保全について、説明や意見聴取を行いながら前向きにお願いします。
- ・ 専門的な内容をかみ砕いて説明頂きました。
- ・ 公園で子供もお年寄りも多いので安全第一で、かつ動植物などの自然に配慮しながら引き続き施工を進めて欲しいです。
- ・ 説明に当たる職員は丁寧でしたが、決定したことを説明するに過ぎない。住民の声を聴いて欲しい。
- ・ 護岸をほぼ垂直に工事を行うのは生物多様性を阻害する。

自然豊かな和田堀公園内の工事ということで環境面及び安全面に関する意見を多く頂きました。

第三建設事務所としても環境面に可能な限り配慮しながら工事を進めてまいります。

なお、オープンハウス形式の説明会については、７割の方から「良い」という評価を頂きました。工事のことや説明会の周知方法については、今後より皆様に知ってもらえるよう工夫してまいります。

説明会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

【説明会場の様子】



3. 工事についての主なご質問・意見に関する都の回答（要旨）

（工事について）

Q 1. 仮囲いの白い壁を透明にして欲しい。散歩していて圧迫感がある。

A 1. 公園内という景観を考え、透明なクリアパネルに変更可能な箇所については変更していきます。

Q 2. 仮囲いや説明会に示されている平面図による位置関係がわかりにくい。

説明会での平面図は北を上側で統一しているが、川の流れに合わせた方がわかりやすい。

A 2. 今後、住民の方々が見てわかりやすくするように配慮して参ります。

Q 3. 御供米橋下流には「東京の名湧水 57 選」にも選ばれている湧水が存在している。工事の影響で枯れてしまうのではないか。湧水の通り道は「水路」と呼称するが、どこから湧水が来ているかを調査して把握しているか。

A 3. 右岸側の崖地から善福寺川に流れ込む湧水があることを把握しています。善福寺川整備工事では護岸に水抜き穴を設けており、河床も自然河床としているので湧水を止めるようなことはありません。工事期間中、近隣の地下水位を観測しており、変動がないことを確認していますが、どこから湧水が来ているかの調査は実施していません。

Q 4. 道路が拡幅されずに大成橋だけが拡幅されるのはおかしい。前区長が強引に決めたことだ。私たちの税金を無駄に使ってほしくない。

A 4. 新しい大成橋の道路幅員は、杉並区からの要望を受け決定しています。

Q 5. 大成橋拡幅による費用は、杉並区の負担となるのか？

A 5. 新たに拡幅される分の費用は、道路管理者である杉並区に負担していただきます。

Q 6. 昨年 6 月の洪水は神通橋の部分で工事をしていることが原因ではないのか。

A 6. 工事前よりも河川断面を拡大した上で工事を行っているので、工事が原因で洪水が起こることはありません。

Q 7. 桜の木（1 本）は、完全に伐採してしまうのか？

A 7. 地域の方と相談しながら、移植についても検討しました。しかし、護岸際に生えており、河川側に根が張っていないため移植が困難であることから伐採することとしました。

Q 8. 大成橋の架け替えはいつ頃になるのか？

A 8. 本工事（その 108 工事）で大成橋を落橋し、新しい橋は、別工事（その 111 工事）で架けます。架け替え完了は令和 10 年度を予定しています。

Q 9. 大成橋がなぜ拡がるのか杉並区に聞いてほしい。

計画を変えることはできるのか。見直すように説得してほしい。

A 9. 大成橋の幅員については、都の河川整備の機会を捉え、主要生活道路として必要な幅員 9 m に拡幅すると伺っています。

大成橋の拡幅に関してご意見があったことは、杉並区へ伝えますが、詳細な内容やご要望は、杉並区にお問い合わせください。

Q 10. 工事期間が長すぎる。もう少し工事期間を短くできないのか？

A 10. 河川の流量を確保しながらの工事となり、どうしても時間を要してしまいますが、工期短縮に努めて参ります。

(説明会について)

Q 11. 自分の家には本日の工事説明会の案内がなかった。

A 11. 工事現場近隣の皆様 172 軒に、案内状をポスティングさせていただきました。

(河川整備について)

Q 12. 今後の河川整備を実施する際には、先祖代々から地元を受け継いでいる住民意見を取り入れて、河川を深く掘ることなどは極力しないで、二層河川や善福寺川沿いの地下を流れる下水道を利用するなど環境や景観を壊さない整備手法を採用してほしい。

A 12. 二層河川による整備は善福寺川のような緩勾配の河川では下流で擦り付けることができず適用は難しいです。白山前橋から上流の整備については、これから検討を始めるので、皆さまからご意見を頂き、水辺に親しめるような整備ができるよう努めてまいります。

Q 13. 昨年 6 月の洪水があったことを示す資料は、恣意的に原寺分橋付近の雨を誇張している。善福寺川上流調節池の事業をしたいために、そのような資料としている。

A 13. 原寺分橋の地点に雨量計があり、その地点における当日のデータを記述しておりますが、他にもデータがあることをお示しすることも可能です。

Q 14. 護岸整備についても、現在の河道の能力がいくつで、整備するとどうなるのかなどの数字で説明してもらわないと、工事の意義を理解することができない。

A 14. 貴重なご意見として今後のご説明の際に参考にさせていただきます。

Q 15. 事業の内容について、住民への周知が不足しているのでは。

A 15. 我々としては、説明会等の機会を捉えて周知しています。頂いたご意見は今後の参考にさせていただきます。

Q 1 6. 豪雨対策基本方針と河川整備の関係は？

A 1 6. 東京都の総合治水対策（河川、下水道、流域対策等）の方向性を示す豪雨対策基本方針があり、その中の一つに河川整備が位置付けられています。河川については、河川法に基づき、河川整備計画を策定し、事業を進めています。

Q 1 7. 下水道や流域対策と連携する必要がある。

A 1 7. 東京都では、都市整備局が総合治水のとりまとめを担っており、河川や下水道と連携して事業を推進しています。なお、流域対策等については、都市整備局の所管となっております。

Q 1 8. 50 ミリ、75 ミリの意味がわからない。

A 1 8. 1 時間当たり 50 ミリの降雨に対しては、河川（河道内）の護岸整備などを行うことで対応し、1 時間当たり 75 ミリの降雨には、残り 25 ミリ分を調節池整備（15 ミリ）と流域対策（10 ミリ）で行います。

（景観・樹木・生物について）

Q 1 9. 今後の上流側の工事でも木を伐採してしまうのか？

A 1 9. 樹木には配慮して工事計画を行い、伐採については必要最低限に留めます。
また、今回の整備工事では、川幅を拡幅するのではなく、既存の護岸の傾斜を変更することで流量面積を増やすため、護岸沿いの木を全て伐採する形にはなりません。